

2008年度春季大会の報告

2008年度春季大会は、横浜市開港記念会館及び横浜情報文化センター（横浜市中区）を会場として2008年5月18日（日）～21日（水）に行われた。参加者数（前納登録者と当日受付者の合計）は868名（内訳は前納登録者555名、当日受付者313名）であった。

2日目午後には、横浜市開港記念会館講堂において総会が開かれ、岩崎俊樹氏と青木輝夫氏に日本気象学会賞が、松本誠一氏と廣田 勇氏に藤原賞が授与された。総会に続いて受賞者による記念講演が行われた。3日目午後には、同会場において大会シンポジウム「海洋観測が切り拓く気候システム科学」が開催された。

今回は、ポスター及び口頭発表による一般講演と特定のテーマに基づいてコンバーナーが編成する7つの専門分科会が行われた。一般講演の発表申込み件数は

376件（内訳はポスターが196件、口頭発表が180件）、分科会は90件で計466件であった。

会期中およびその前日には、教育と普及委員会主催による公開講演会を含めて、個別のテーマによる研究会が7件開かれた。

最後に、今大会実行委員会として大会準備・運営にご尽力頂いた海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センター、海洋研究開発機構地球環境観測研究センター、海洋研究開発機構地球シミュレータセンター、防衛大学校地球海洋学科の皆様へ深く感謝の意を表します。また、大会開催にあたり御後援頂いた横浜市環境創造局、横浜地方気象台、財団法人横浜観光コンベンション・ビューローに対しまして篤く御礼申し上げます。

2008年6月 講演企画委員会